

実践事例

学校名 _____

1 実践の概要

(1) 取組みのねらい

生徒に、思いやりのあることばや接し方、人を傷つけることばや接し方について考えさせるとともに、自分の日常の言動を振り返らせ、よりよい人間関係を築こうとする意欲や実践的態度を育て、いじめの未然防止を図る。

(2) 取組みの内容

- ・ アンケートを実施し、「自分が言われてうれしい言葉」「自分が言われていやな言葉」を考えさせるとともに「自分が周囲にどんな言葉で接してきたか」について振り返らせる。
- ・ アンケートの結果を踏まえて、ロールプレイングをとおして、生徒に望ましい人間関係を築くための言葉や接し方を考えさせる。

2 実践の成果（態度・心情面やいじめの解決など）

- ・ アンケートへの回答を通して、生徒は、自分自身の日常の言動を素直に振り返って、反省点や「こうありたい」という願いを持つことができた。
- ・ ロールプレイングへの参加や感想のまとめなど、真剣に取り組み、自分のこととして考えることができた。

3 取組みの評価（対応についての評価）

- ・ 級友や先輩、後輩との接し方について、日常の自分の言動を振り返らせる機会となったと考える。
- ・ 「やさしいことば」環境をつくることで、いじめの未然防止につなげていきたいが、日常の言語環境を整えるには、相当の時間を要するので、今後も継続した指導に当たりたい。

4 実践に関する資料

<生徒のアンケート>

つぎの、いろいろなことばを読んでみてください。

- | | | |
|-----------|---------------|-------------|
| ア おはよう | イ 自分でやれば | ウ またね、さようなら |
| エ バカじゃねえの | オ いい気になってんなよ | カ 一緒にやろうよ |
| キ 手伝おうか | ク ふざけんなよ | ケ だいじょうぶ？ |
| コ さっさとしろよ | サ おめえ、何やってんの！ | シ ありがとう |
| ス ごめんね | セ うざい | ソ だせー（ダサイ） |

- 1 自分が言われてうれしい言葉を選んでみよう（いくつでもよい）
- 2 自分が言われたらいやな言葉を選んでみよう（いくつでもよい）
- 3 あなたがよく口にする言葉はありますか？
多い順に、5つを選んでみよう。

<ロールプレイング>

場面：お掃除をしていたら、日影さんがあやまって机を倒してしまい、中のものが
床に散らばってしまいました。それを見た高柴さんが言葉をかけました。

<ガチャ、机が倒れる> 日影さん：「あ、やっちゃった」

高柴さん：「 A 」

日影さん：「・・・・・・・・」

高柴さんの「A」に次の言葉を入れて、ロールプレイングをしてみよう。

「おめえ、何やってんの。ばっかじゃねえ。さっさとかたづけろよ」

「だいじょうぶ？ううん、平気、平気、一緒にかたづけようよ」

- 1 日影さんの立場になって、どんな気持ちでしたか。

★「おめえ、何やってんの。ばっかじゃねえ。さっさとかたづけろよ」と言われたとき

★「だいじょうぶ？ううん、平気、平気、一緒にかたづけようよ」と言われたとき

- 2 高柴さんの立場になって、どんな気持ちでしたか。

★「おめえ、何やってんの。ばっかじゃねえ。さっさとかたづけろよ」と言ったとき

★「だいじょうぶ？ううん、平気、平気、一緒にかたづけようよ」と言ったとき